

注目のカウファミリー 第45回

パインツリー 2149 ロブスト 4846 ET VG-87



写真1

今回紹介するファミリーはJP3H57600「サム」を輩出した世界屈指のブルダム「パインツリー 2149 ロブスト 4846 ET VG-87」【写真1】です。血液をさかのぼると世界で最も繁栄しているファミリーの1つ「ウエスウッド HC ルデー ミツシー ET」につながり、現代の乳牛改良を牽引する代表的な枝葉が「ロブスト 4846」です。

母「パインツリー ゼニス シーン VG-87」【写真2】の妹には「シーガルベイ スーパーサイアー ET」を輩出した「アモンビーチエ ショーナ ET EX-92」【写真11】など著名牛が多数います。ファミリーは安定した能力と優れた繁殖性、長命性を持ち、中程度のサイズと良く開張した肋が特徴です。

「ロブスト 4846」は2011年にオハイオ州パインツリー

牧場で誕生し、8ヶ月齢時に75,000ドル(当時約585万円)という高値でミシガン州のカントリーデイリーへ売買されました。当時のカントリーデイリーは体外受精卵技術(OPU-IVF)に取り組み始めたばかりでしたが、彼女の繁殖性の良さが功を成し、産子数は雌雄合わせて103頭に達しました。彼女の息牛でヤングサイアの「モントレイ」がゲノミック評価で上位に登場したことを契機に授精所からの注目に拍車がかかり、「ミズーリ」、「パワーボール P」など、世界で活躍する種雄牛を続々輩出しました。

代表娘牛には「ビューホーム ウーノ ホープ ET EX-92」【写真3】、「ビューホーム メリディアン アイオワ ET VG-86」【写真5】や「ビューホーム DRMAN ウィスコンシン ET VG-88」【写真8】があり、彼女たちはカントリーデイリーを離れ、北米各地にて繁栄しています。

「アイオワ」は「メリディアン」を代表する娘牛であり、「ロブスト 4846」の娘牛の中で最もGTPIが高く、雌雄合わせて194頭の産子を生産している枝葉です。「BGP SLMDNK アイオワ EWL ET VG-86」【写真7】は現在当ファミリーきっての高インデックスカウで、高GTPIヤングサイアの「エクスぺクタント」を輩出しています。

「ウィスコンシン」はカナダのウエストコースト牧場へ売買され、2016年4月には経産牛LPI第6位にランキングし、高インデックスのドアマン娘牛として注目を集めました。「モントレイ」の全姉弟でカナダのクレイヌーク牧場へ売買された「ビューホーム MCC ファウンド ET VG-88」【写真4】が「ウィスコンシン」と共にトップ10入りを果たし、カナダでもエリートカウとして確固たる地位を築きました。

当団で導入した「ウィスコンシン」の受精卵は北海道剣淵町の村岡潤一牧場にて繁栄し、「サンビレッツジ ウィスコンシン シルバー ET VG-85」【写真9】のジェダイによる娘牛「サンビレッツジ WIS ホワイト ET GP-82」は、高ゲノミック評価の子孫を輩出しています。ブーテイー娘牛「ホクレン WIS ホワイト プレス ET」GNTP+3131 第59位((2021年2月評価)、マスターカード娘牛「サンビレッツジ WIS マスターカード ET」GNTP+3879 第3位)がいます。

当団では、2014年に導入した当時TPI第3位の「ロブスト 4846」の受精卵から北海道天塩町 赤塚冬樹牧場で「レッドスター キングピン サム ET」【写真10】が誕生しました。「サム」は2021年2月公表の乳用種雄牛評価成績にて総合指数第2位でデビューし、優れた耐久性成分や長命連産効果、疾病繁殖成分、そして前乳房の付着に優れた種雄牛です。搾乳ロボットも対応するサイズ、乳頭配置、搾乳性を持つモダンな娘牛達は様々な飼養形態で活躍が期待されます。「ロブスト 4846」ファミリーへの今後の更なる活躍に注目です。

系統図

